

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-69	中学校	外国語	英語	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
9 開隆堂	英語 009-92	Sunshine English Course 3		

1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法を精神を教材の中で具体化するとともに、学習指導要領に示された目標と内容に沿って、外国語を使って豊かなコミュニケーションを図る資質・能力を養うことを目指し、以下の基本方針を設定しました。

自ら考え、行動し、目標に向かって主体的に学習が進められる教科書

小学校での外国語（英語）の基礎の上に立って、いっそうコミュニケーション能力を伸ばすために、「話すこと」を軸にして4技能5領域の能力を総合的に扱い、統合的に活用して思考力、判断力、表現力を育成する構成です。また、我が国と諸外国の伝統や文化を尊重する態度を育成します。

1

生きたコミュニケーション能力が
身につき、自己肯定感を育みます。

1. 身の回りの場面から社会的な場面まで、自分のことばとして英語を使う力がつきます。
2. 「何のために」「だれに向けて」を意識したコミュニケーション活動が実施できます。
3. 即興でコミュニケーションができる能力を育みます。

●主人公

古瀬 真央



2

確かな学力が身につきます。

1. 学習事項について、生徒に気づきを促し、自律的な学習者を育てます。
2. 3年間を見通した学習を可能にしています。
3. 知識・技能を習得し、それを活用して課題を解決する力が身につきます。

3

「地球市民」としての
豊かな感性を育みます。

1. 日常生活だけでなく、環境、平和、人権、共生などの現代的課題を扱い、多様なものの見方や考え方について、生徒に思考力・判断力を促す題材を精選しました。
2. 自国の伝統と文化を尊重するとともに、他国も尊重し、国際社会に寄与する意識を育てる題材を配置しています。

1

生きたコミュニケーション能力が身につき、自己肯定感を育みます。

1. 身の回りの場面から社会的な場面まで、自分のことばとして英語を使う力がつきます。

本教科書では、各学年に3か所（※3年生のみ2か所）に、統合的なパフォーマンス活動を行う Our Project を設けています。場面と内容は発達段階に応じて徐々に難易度を上げ、最終的には社会的な場面で自分のことばとして英語を使う力を育てます。

Our Project 一覧	身の回りの場面		社会的な場面
	1年生	2年生	3年生
	① 自己紹介 （あなたの知らない私） ② 他者紹介 （この人を知っていますか） ③ Show & Tell （私が選んだ1枚）	④ グループプレゼンテーション （海外でヒットするラーメンのCMを作ろう） ⑤ ポスター発表 （日本のおすすめスポットを紹介しよう） ⑥ 尊敬する人物についてのスピーチ	⑦ ポスターセッション （パラスポーツについて知ろう） ⑧ ディスカッション （レストランにSDGsの取り組みを提案しよう）



2. 「何のために」「だれに向けて」を意識したコミュニケーション活動が実施できます。

活動には場面性をもたせ、ペアやグループで行う活動を数多く設定することで、目的と相手を意識したコミュニケーション活動が行えるように配慮しています。

Step 3 ペアでカウンセラー役と上の生徒役に分かれて、カウンセラー役はStep 2のメモを参考に、生徒役に問診をして解決策を伝えてあげましょう。

やり取り

例

A: What's your name?
B: I'm Felipe. I can't get up easily these days.
A: How long has this been going on?

Expression Box

How long has this been going on?
 どのくらいそれが続いていますか。
 This has been going on for ~.

カウンセラー役が、生徒役の悩みを解決する活動です。

(p.25 PROGRAM 2)

3. 即興でコミュニケーションができる能力を育みます。

通常課 (PROGRAM) には、即興でのコミュニケーション活動を行う Small Talk のコーナーを3か所ずつ設けました。これを積み上げていくことで、Our Project において書いた原稿を読み上げるのではなく、メモをもとに発表したり、友だちの発表に対して即興で質問やコメントなどの「やり取り」をしたりする力が身につきます。

Small Talk だれかに頼みたいことと、その理由を話そう。

Small Talk 自分のおすすめの本や音楽などを紹介しよう。

(p.10, 60)

だれかに頼みたいことと理由

▶ p.10

I'll ask Doraemon to give me a Time Machine because I want to see my future.

(p.163)

2

確かな学力が身につきます。

1. 学習事項について、生徒に気づきを促し、自律的な学習者を育てます。

新出表現の導入は2コマのマンガ形式で示すことにより、文字が読めなくても、イラストや音声を頼りに内容を推測できるように配慮しました。また、基本的には文法シラバスで構成されていますが、Small Talkのコーナー（p.2参照）には既出表現を繰り返し使う機会を設け、スパイラルな学習ができるように配慮しました。

1 どの店員？

Oh, that waiter looks like Ken!

Which waiter?

It's the man wearing glasses.

Hmm... I don't think so.

● the man wearing ~
「～を身につけている男性」

(p.56 PROGRAM 4)

2. 自己の達成度を確認し、今後の学習に生かします。

各課で「できるようになったこと」を確認する「CAN-DO リスト」を巻末に掲載し、自分が身につけたことの軌跡がわかるようにしました。理解度を3段階で自己評価できるようにしているので、定着が弱いと感じたものについても復習しやすくなっています。

PROGRAM 7		Robots Can Improve Quality of Life					Grammar Points
できること	聞いてわかる	読んでわかる	伝え合える	伝えられる	書ける		
もし自分が動物だったらしてみたいことについて	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	仮定法過去 (be動詞)	
もし自分が100万円を持っていたらしてみたいことについて	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	仮定法過去 (一般動詞)	
会ってみたい有名人や、その人になりたいことについて	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	I wish + 主語 + (助)動詞の過去形	

(p.162 CAN-DOリストの一例)

3. 知識・技能を習得し、それを活用して課題を解決する力が身につきます。

知識・技能を活用し、実際のコミュニケーションをする能力の育成をより重視しました。本教科書の Our Projectをはじめ、Power-Up、通常課のActionのコーナーでは、「伝え合う能力」、「話し合える能力」、「発表・討論・交渉などを行う能力」を段階的に身につけられるような活動を数多く設定しています。

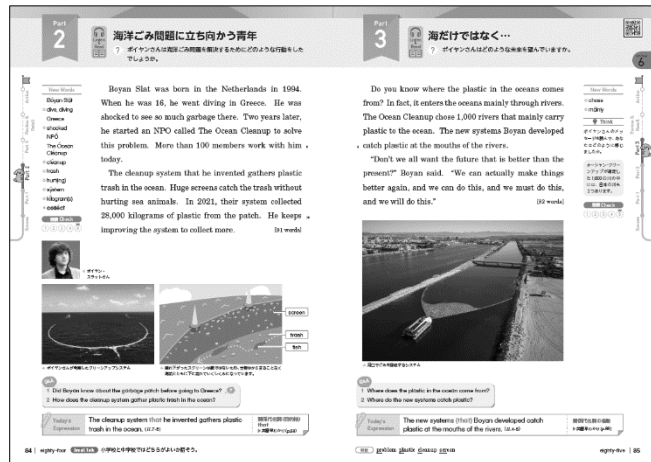
3

「地球市民」としての豊かな感性を育みます。

- 日常生活だけでなく、環境、平和、人権、共生などの現代的課題を扱い、多様なものの見方や考え方について、生徒に思考力・判断力を促す題材を精選しました。



(p.79, 84-85)

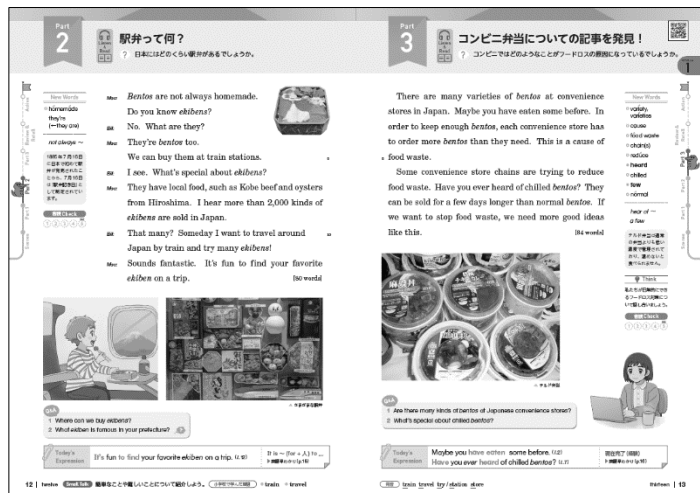


海のプラスチックごみが集まる「太平洋ごみベルト」。プラスチックごみが生態系に与えている被害と、その解消に向けた16歳のオランダ人少年の取り組みについて学習します。

- 自国の伝統と文化を尊重するとともに、他国も尊重し、国際社会に寄与する意識を育てる題材を配置しています。



(p.7,12-13)



かわいいキャラクターや動物などがデザインされた弁当や、各地の名物が散りばめられた駅弁といった日本の弁当文化を取り上げました。フードロス問題についても言及し、SDGsへの理解を深めます。

☞ その他の題材については、p.5 参照

2. 対照表

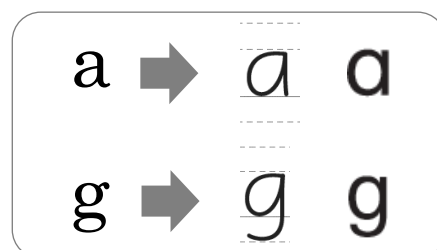
※ Prog…PROGRAM OP…Our Project SP…Special Project FR…Further Reading

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
Prog. 1	Japanese Bentos Are Interesting!	日本の弁当文化やフードロス問題について知ることにより、伝統と文化を尊重するとともに社会の発展に寄与する態度を養います (第3,5号)。	pp.7-16
Prog. 2	Good Night. Sleep Tight.	睡眠が健康に及ぼす影響を学ぶことで、睡眠の重要性を知り、健やかな身体を養うきっかけとすることができます (第1号)。	pp.17-27
Prog. 3	Hot Sport Today	身近で人気のあるバスケットボールの歴史などを学ぶことで、伝統や文化を尊重する意識を養います (第5号)。	pp.29-38
OP 7	パラスポーツについて知ろう	パラスポーツについてのポスターセッションを行うことで、障がい者への理解を深め、公正、公平な態度を養います。(第3号)。	pp.43-47
Reading 1	Meaning of Life	齊藤慶輔さんの猛禽類保護活動について読むことで、生面を尊ぶ態度を養います (第4号)。	pp.48-53
Prog. 4	Sign Languages, Not Just Gestures!	アメリカ手話について学び、多様な言語文化を知ることによって他者を認め、主体的に社会の形成に寄与する態度を養います (第3号)。	pp.55-64
Prog. 5	The Story of Chocolate	普段身近にあるチョコレートの歴史や社会問題について知り、主体的に国際的な社会の形成に参画する意識を養います (第3号)。	pp.65-74
Prog. 6	The Great Pacific Garbage Patch	太平洋ごみベルトについて学び、今起きている国際的な問題を知り、生命を尊び、環境を保全する態度を養います (第4号)。	pp.79-88
OP 8	レストランにSDGsの取り組みを提案しよう	SDGsの取り組みについてディスカッションすることで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います (第5号)。	pp.89-93
Prog. 7	Robots Can Improve Quality of Life	分身ロボット OriHime について学び、誰もが参加できる社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います (第3号)。	pp.95-104
Reading 2	Malala's Voice for the Future	マララ・ユスフザイさんに起こった出来事、功績を読むことで、男女の平等、教育の重要性を重んじることができます (第3号)。	pp.106-111
SP	中学校の思い出を残そう	中学校生活の思い出を文章などに残すことで、個人の成し遂げてきたこと、価値を尊重し、自主及び自律の精神を養います (第2号)。	pp.112-114
FR 1	A Birthday Present	物語『A Birthday Present』を英語で読み、登場人物の心情を想像するなどして、豊かな情操と道徳心を培います (第1号)。	pp.115-117
FR 2	The Ig Nobel Prize	イグノーベル賞とその賞を受賞した日本人について学ぶことで、幅広い知識と教養を身につける態度を養います (第1号)。	pp.118-120
FR 3	Nakamura Tetsu	中村哲さんのアフガニスタンでの功績について読むことで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います (第5号)。	pp.121-125

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. すべての生徒が学習しやすい紙面づくり

カラーユニバーサルデザインの考え方や特別支援教育の視点を取り入れ、紙面を構成しました。識別しづらい色遣いは避ける、文字を極力大きくする、手書き文字に近い欧文フォントを2種類開発する、日本語のフォントはUDフォントを使用するなど、すべての生徒が無理なく学びやすい紙面づくりを目指しました。



2. 造本・体裁など

造本は丁寧で堅牢です。また、環境に配慮した用紙やインキを使用しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-69	中学校	外国語	英語	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
9 開隆堂	英語 009-92	Sunshine English Course 3		

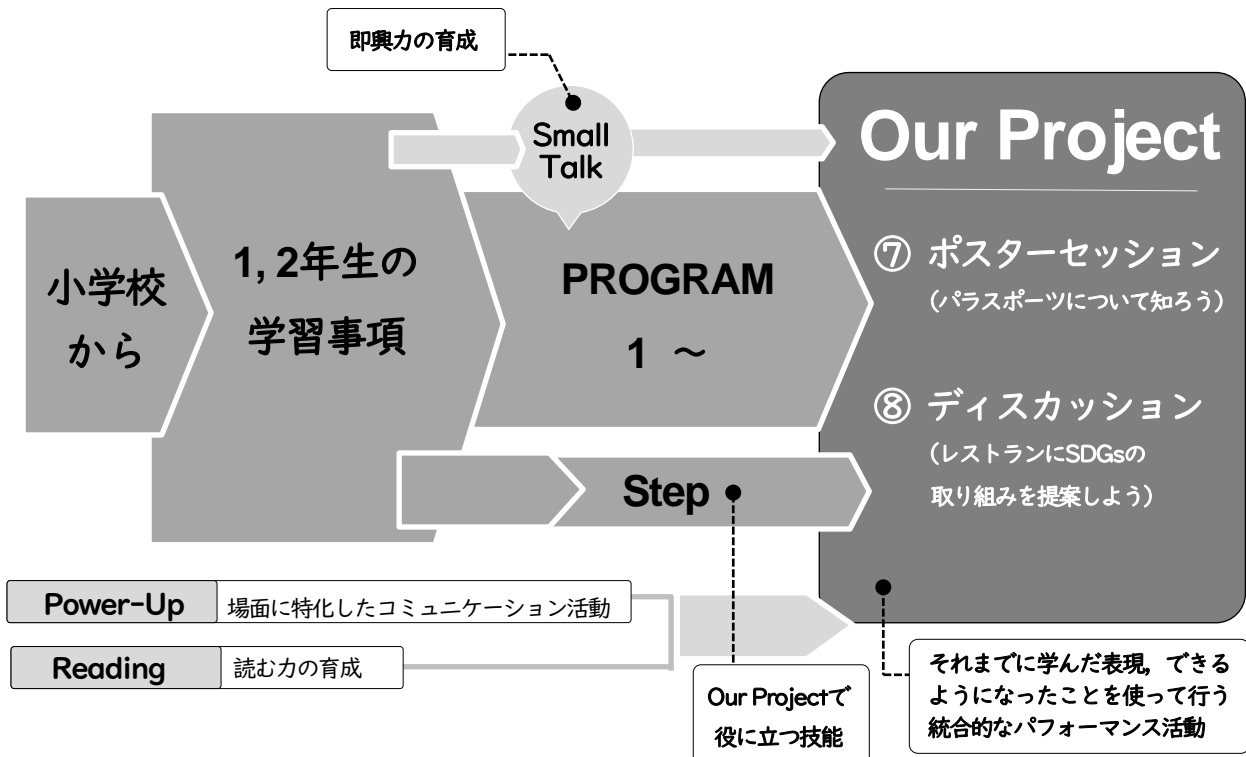
1. 編修上特に意を用いた点や特色

習得した**知識・技能**を活用して、
自ら**思考・判断・表現**することで、
学びに向かう力と
豊かな**人間性**を育てる教科書です。



全体の構成

Our Projectを軸として、目標に向かって主体的に学習が進められる構成です。



Our Project 4技能5領域を統合的に活用し、「コミュニケーションできる」喜びを実感できます。

習得した**知識・技能**を使って、自ら原稿を考え（**思考力**）、内容を取捨選択する判断をし（**判断力**）、自己表現（**表現力**）することで自信をつけます。

モデルの理解・分析 → **本番までの準備** → **リハーサル** → **本番と振り返り**



「聞く」「読む」を通して、モデルを理解・分析します。



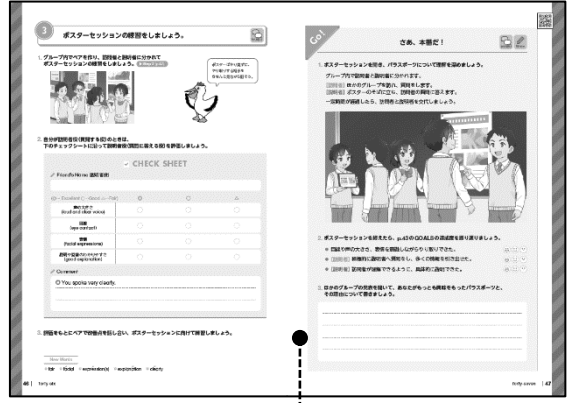
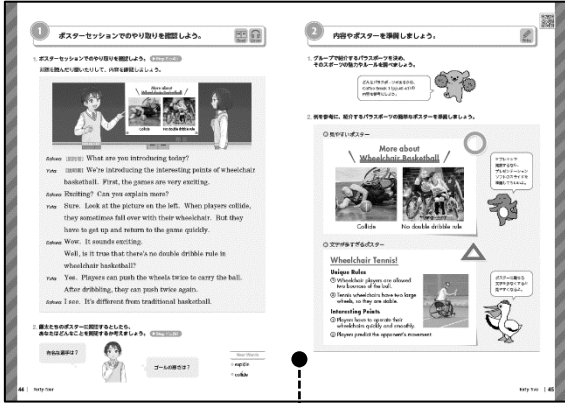
ポスターの用意など、本番に向けて準備を進めます。



本番に向けて練習し、友だち同士でフィードバックします。



ポスターセッションを行い、学んだことを書いてまとめます。



(pp.44- 47 Our Project 7)

質問の仕方や**ポスターセッションの流れ**など、Our Projectで役に立つ技能は事前にStepのコーナー（下記参照）で学習します。



3年生では、社会的な話題について扱い、即興の要素も多く取り入れました。

Go!
ポスターセッションやディスカッションを行い、即興力を養います。
最後には「**自分の発表や、友だちの発表から学んだことを振り返る活動**」を設け、**協働的な学び**ができるように配慮しました。

Step コミュニケーションに役立つ知的生産の技術を会得します。

話の広げ方、ポスターセッションやディスカッションについてなど、Our Projectに**連動**した内容を学習します。Our Projectの活動にスムーズに取り組める力をつけることができます。

Point

Point 1 わからなかったことについての説明を促す
 ④ What does ~ mean? ~はどういう意味ですか。

Point 2 具体例やわかりやすい情報について聞く
 ④ Can you give me an example? 例を示してくださいませんか。

Point 3 相手の返答に対してさらに質問する
 ④ Which basketball player do you like the best? どのバスケットボール選手がいちばん好きですか。
 ④ I like Hachimura Rui the best. 八村塁がいちばん好きです。

Challenge ペアになって、お互いの好きな人物について話し合きましょう。Pointの内容を参考にして、相手に積極的に質問をしましょう。

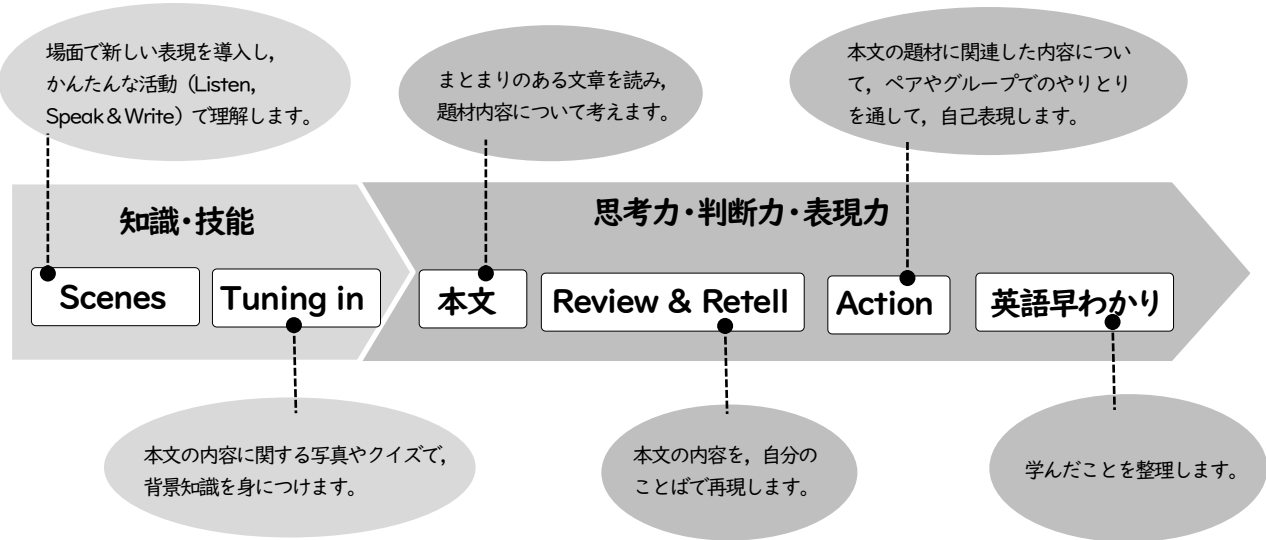
ポスターセッションをスムーズに行うためのポイントを丁寧に提示しました。
さらに、ペアで対話練習をすることでやり取りを通して理解を深めます。



(p.28 Step 1「聞き上手ひなろう」より)

PROGRAM

学習指導要領の3つの柱の可視化を図り、基礎学力を向上させます。



各コーナーの工夫

Scenes

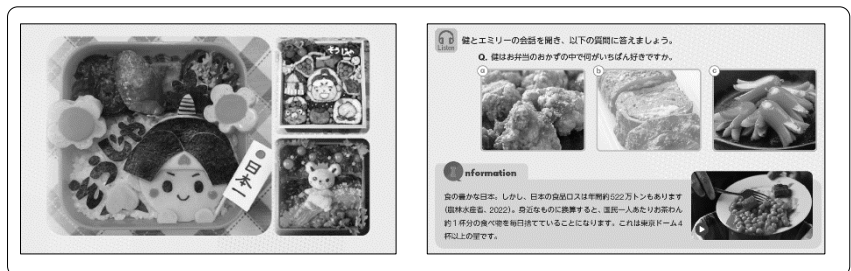
新出表現をマンガ形式で示すことにより、どのような目的や場面、状況で使われる表現かが一目でわかるようにしました。また、対話は2ターンを基本としており、ミニマムエッセンスで新出表現を理解できるように配慮しました。



(p.80 PROGRAM 6)

Tuning in

本文の題材に関連した写真やクイズ、雑学を掲載しました。内容についての興味・関心を喚起することで、主体的な学びを促します。



(p.10 PROGRAM 1)

本文

Q&Aでは、本文の内容から推測して答える推量発問を適宜設けました（下記参照）。また、本文の最終セクションには、Think（右記参照）というオープンクエスチョンを設けました。生徒に「多様なものの見方」を働かせることを促し、「深い学び」を支援します。

Q&A

- 1 Can OriHime help children in the hospital bed take classes?
- 2 Can OriHime make people happy?

Think

OriHimeがどのような場所や場面で活躍できそうか考えてみましょう。

(左: p.100
右: p.101 PROGRAM 7)

Review & Retell

スモールステップで本文の要点を確認し、無理なく自分のことばで本文の内容を伝える活動としました。

また、友だちの発表を聞いて、「こんなことも言うことができた」「こんなふうに表現すればよかったのか」という気づきを促し、**自律的な学習者**を育てます。

Step 1 空所に当てはまる語句を入れて、各Partの要点のメモを完成させましょう。

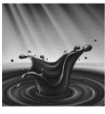
Part 1

In the old times in Mexico

What was the original chocolate like?

→ * just _____

* had no _____



Step 2 Step 1で完成させたメモをもとに、ストーリーを振り返りましょう。

Step 3 Step 2で作った文以外に、自分の感想も加えながら、すべてつなげて言いましょう。

● I'll look for fair-trade chocolate at the supermarket.

(p.72 PROGRAM 5)

Action


本文の題材と関連したトピックで行う言語活動としました。

また、「自分の意見は理由をつけて話す」ことを促し、**主体的かつ対話的な学び**ができるように配慮しました。

Step 1 真央が考えた野球大会の工夫についてのスピーチを読みましょう。

Read

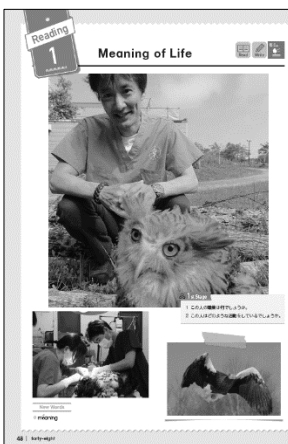
I'll show you a new baseball rule. A baseball is small, so children cannot hit it easily. If we use a tennis ball and a tennis racket, it will be easier for children to hit the ball. The rule will make the game more exciting.



(p.37 PROGRAM 3)

Reading

心に訴える題材と、読解をサポートする設問で「読む」力を育成します。



(p.48)

1st Stage (Pre-Reading), 2nd Stage (While-Reading), 3rd Stage (Post-Reading)と3段階の問いを設置しました。

2nd Stageには、読み進めるためのサポートとなるような問いを設けると同時に、生徒の思考力を育てるような問いも設けました。

★ 1st Stage

- この人の職業は何でしょうか。
- この人はどのような活動をしているのでしょうか。

(p.48)

1st Stage
Pre-Readingとしての質問で題材への興味をもたせます。

★ 2nd Stage

- 齊藤さんはほかにさまざまな活動をしています。たとえば、鉄塔にとまったワシが感電しないよう、電力会社と協力してワシが嫌う形や色の棒を開発し、道内およそ1,800箇所に設置されました。

Check

齊藤さんはちびにどのような役割や仕事を与えたのでしょうか。

Guess

ちびは子どもたちにどのような影響を与えると考えられるでしょうか。

Share

齊藤さんの話を読んで、学んだことや考えたことを話し合しましょう。

(p.51, 52)

2nd Stage
3種類の問いで、読解をサポートします。

Check
本文の内容を確認。

Guess
心情、行間を読みとる推量発問。

Share
自分の意見を述べるオープニングエスジョン。

読み進めるのに役に立つ背景情報を随所に記載しました。

★★ 3rd Stage

- オオワシやシマフクロウのように、現在動物を取り巻く環境や動物の扱いについて多くの問題があります。あなたが知っていることを一つ取り上げ、あなたの考えを50語程度で書きましょう。

(p.105)

3rd Stage
要約文の完成や本文全体について考えさせる問いで読みを深めます。

2. 対照表

※ Prog…PROGRAM OP…Our Project SP…Special Project PU…Power-Up

	図書の構成・内容	主な言語材料など	学習指導要領の内容	該当箇所	配当数
Prog. 1	Japanese Bentos Are Interesting!	ask ~ to ... / It is ~ (for + 人) to ... / 現在完了形 (経験)	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.7-16	8
Prog. 2	Good Night. Sleep Tight.	現在完了形 (完了) / 現在完了形 (継続) / 現在完了進行形	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.17-27	8
Prog. 3	Hot Sport Today	tell ~ that ... / make me sleepy / make you sleep	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.29-38	8
Steps 1, 2	聞き上手になろう ポスターセッションの流れを理解しよう	上手なやり取りの仕方, ポスターセッションの流れ	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・エ ②イ, 3(1)(2)(3)	pp.28,42	各1
OP 7	パラスポーツについて知ろう	ポスターセッション	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・カ ②イ, 3(1)(2)(3)	pp.43-47	4
Reading 1	Meaning of Life	齊藤慶輔さんの猛禽類保護活動	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.48-53	5
Prog. 4	Sign Languages, Not Just Gestures!	現在分詞, 過去分詞の後置修飾 / Do you understand what ~?	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.55-64	8
Prog. 5	The Story of Chocolate	関係代名詞主格 (who, which, that)	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.65-74	8
Prog. 6	The Great Pacific Garbage Patch	関係代名詞目的格 (which, that) 関係代名詞目的格の省略	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.79-88	8
Steps 3~4	ディスカッションの流れを確認しよう ディスカッションで使う表現をおさえよう	ディスカッションの仕方や表現の学習	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①エ ②イ, 3(1)(2)(3)	p.54, 78	各1
OP 8	レストランにSDGsの取り組みを提案しよう	ディスカッション	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ ②イ, 3(1)(2)(3)	pp.89-93	4
Prog. 7	Robots Can Improve Quality of Life	仮定法過去	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.95-104	8
Reading 2	Malala's Voice for the Future	マララさんの女子教育への思い	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.106-111	5
SP	中学校の思い出を残そう	中学校生活の振り返り	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・エ・オ・カ ②イ, 3(1)(2)(3)	pp.112-114	2
Further Reading 1	A Birthday Present	物語「A String of Blue Beads」	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①ウ, 3(1)(2)(3)	pp.115-117	3
Further Reading 2	The Ig Nobel Prize	イグノーベル賞での日本人の活躍	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①ウ, 3(1)(2)(3)	pp.118-120	3
Further Reading 3	Nakamura Tetsu	中村哲医師の活躍	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①ウ, 3(1)(2)(3)	pp.121-125	5
PU 1~4	電車の乗りかえ案内をしよう / ポスターから情報を読み取ろう / ラジオのCMを聞こう / ウェブサイトで学校を紹介しよう	乗り換え案内やポスターの読み取りなどの特有用場面での表現の学習	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・カ ②ア・イ, 3(1)(2)(3)	p.39,75,94,105	各1

計95 (時間)